明治四十一年三月二十日第三種郵便物認可 （日刊） 日曜及祭日の翌日休刊 明治四十二年六月二十六日 （土曜日） 第百四十五號 （一）

# 京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

## ●偶感　勿禁

▲曾禰統監には長途の疲れを醫する暇もなく所謂御挨拶の爲め儀仗兵に警衛されつゝ諸所を回はり居り候、只見れば威儀堂々たる一個の文官、横から見ても縦から見ても外容丈は確かに立派に候、唯願くは此の堂々たる統監姿をして彼の統監に擬ひし賣藥屋の姿と同視せしめず飽迄統監の統監たる姿態を維持されんことを祈り候、日月矢の如し從來の如く研究／＼と許りで其の日を送り居らんには瞬く間に二三年は過ぎ去るべく候、果して斯の如くんば事實に於て賣藥屋の統監姿と何の擇ぶ所無之候

▲政友會の催しに係る伊藤公招待會は去る十九日上野精養軒に於て開かれ候、席上杉田幹事長は伊藤公に向つて一場の挨拶を爲せし由に候が其の挨拶はナカ／＼に公を持ち上たるらしく候、而て之に對する公の答辭は例に依りて華麗に候、併し三ケ月た六の芝居ぢやないがシラを切るのも宜い加減にしてほしきものに候兎も角答辭中の一節に「余が曾て政友會總裁たりし時余の言行は諸君をして滿足せしめたるや否や頗る疑問とする處なり而も幸に一言反對の聲を耳にせずして有終の美を擧げたるは余の深く喜びとする所なり云々」

▲年は取りたく無いもの物忘れは唯にブランデーの爲めのみには非ず候、併し僅か一昔以前の事萬更ら年の加減のみに非ざるべくとも被存候、もし果して然りとすればト●ボ●氣るのも中加減にいたされたく候、第一一言反對の聲を耳にせずとは何たる申し分なるぞ、反對の聲はれろか當時會員等は公の威望を疑ひ初め終には公を輕じて專擅私恣を極めまるで統一も秩序もあつたものに非ず內訌常に絶へずして土壞瓦解せんとしたるに非らず候や而も公は稱して有終の美といふ蓋し當時手を燒き足を燒き命からがら逃げ出したる公の醜態はヤハリ之も有終の美の一ッに候や

▲元老が新材の進路を擁塞するは大々的不可に候、角力界の巨人常陸山、梅が谷の儼として其の地位を退かざるは之が後を襲ふべき新材なきを以ての謂に候而も新材にして一度び現はれんか常梅の兩巨人は何時にても其の地位を退くに吝ならざる由に候、翻つて之を我政界に見んか廟堂の諸公其の多くは老輩にして敢て新なる創目なく見るべきの治績なく而も偶々新進有爲の士の現はるゝなきに非ざるも此等は所謂雅量なき偏固なる元老者流の制肘干渉に依りて思ふ存分に其の經綸と抱負とを揮灑する能はず有爲の才をして空しく實の持ち腐れとなすの觀有之候、かるが故に近時志を將來に展べんとする新進の材は相卒ひて他に其の徑路を求めつゝあり候が洵にうたてき事に候要するに當今の先進及元老等は　しく回向院の角力に學ぶ所ありたく候（二十四日午後二時記）

## ●補助指定普通學校（續）

三、相當なる設備と維持方法とを有すること　補助の範圍差遣教員の俸給に限られ學校の維持經費に及ばざるを以て校舍其他相當なる設備と維持方法確立するものならざるべからず然れども敢て完備を期するにあらず唯教授に差支なき設備と之を維持するに相當なる收入の方法の存在し若くは將來存立の見込確實なるを以て足れりとす

學部が要求する條件は以上の如く甚だ簡明にして右の條件を具備するに於ては既設の學校たると新に設立すべきものたるとは問ふ所にあらず且又選定の趣旨右の條件の具備に存するを以て設備と維持方法とに於て完備するも位置に於て其當を得ざるが爲め又は其位置に於て適當なるも維持方法不完全なるが爲め其選に漏れたるものあり隨て當該地方に於て或は多少の不平を唱ふるものなきにあらずと雖とも已むを得ざるの結果なり而して從來乙種公立普通學校として多少の補助を與へ來りしものも右條件に適合するものは今回補助指定普通學校に變更したる者也

四、補助と從來の組織　今回の補助學校は單に適當なる教員を差遣し普通學校として經營せしむるに止まり其以外何等の變更を當該學校に加ふるものにあらず故に學校維持方法に於ても從來の職員に於ても總て設立者の任意に任せ學部は此等新舊職員及學校の關係者が協心協力新教育の發展を企ふせんことを期待するのみ若し夫れ將來學校の改善等に關し適當なる措置を指示することあらば是れ必ずしも補助學校たるが故にあらずして一般學校に對する監督權當然の行動なりとす

## 佐倉宗吾

（百十六）　眞龍齋貞水講演

小供等一同は、ドウッと叱られる度毎に后へ退るが、又ぞろ／＼跟いて來て「坊ッちやま何處へ行かつしやる」と泣きながら後へ跟いて來る、池永五郎左衛門殿が　五「コレヨ、其方共騷ぐな、一時は上の御法であるから、斯くの通り宗五郎の小供等は引立てられるが、程なく歸宅は許されるであるから、騷いではならぬ、騷ぐと却て其方等の利益に成らぬぞ　○「イヤ騷がねいでがす坊ッちやま方が可哀さうだから、御助け下さい」と十二三に成る小供が、ワイ／＼泣きながら後へ跟いて來る、其内にキャッと一聲、アッと驚いて役人が見ますと、宗五郎の養母、豫て用意の懷劔引抜き、門を出ると二足三足、ブッと突立て、アッと倒れる、覺期なしたる自殺ゆゑ、次第に落入るのみ「是はしたりッ」とれ美禰は驚くと子供等も「れ婆ア樣ア」と云つたが、もう迚もいかぬ、池永五郎左衛門殿は「ハ、ハア天晴なる自殺、先代宗五郎の妻だけあつて、殊子や娘子供の御處刑になるのを見るも苦しき事と存じての自殺、憫然な者」と思召され、泣いて騷ぐ村の者へ　五「コレ／＼其方共泣く所でない是へ來い　○「ハイ　△「ハイ　五「此の如く宗五郎の老母自殺に及びたるに由つて、手當を致すと雖ども、最早その甲斐なき事と存ずる、就いては其方等に申し付ける、総懇ろに吊葬送をして取らせよ　○「ハア有難い事でございます、仰せの通り私等宜しく取計つて參りますでございますア、、どんだ事に成りました」ワッと一同が泣きます、れ美禰は有繋血肉を分けました母親の自殺に、何うして宜からうと暫時立止つて涙に暮れましたが、池永樣の御情けにて、一歩進みては嘆息を吐き、一足進んでは吐息を吐きつゝ引かれ行きます然るに幾ら言ひ聞かしても、村内の者、また小供等は、名主樣の御新造樣や坊ッちやんが彼の御役人樣に引張られて行く、御歸りになるんでございますかと、ワイ／＼泣きながら後を跟いて來る、そこで御城中へ入らうと云ふ時に、池永五郎左衛門殿が立止つて　五「コレ／＼宗五郎の妻や小供は、一通り御調べがあると、程なく村へ御返し下さるに由つて、左樣心得て居ろ」此時小供等は大地へ座つて兩手を支へ、「坊ッちやま、直きに御歸りになると云ふことだ、それぢや是で御別れ申します」とワッと一同泣き出した、實に目も當てられぬ有樣でございました、そこで宗五郎妻子の者は、鹿島口の御牢內へ伴れて參り、別仕切の御牢內へ入れました、別仕切と云ふのは、宗五郎の隣に妻のれ美禰を入れ、れ美禰の隣に、總領の宗平を入れ、其次に次男の喜六を入れ乳を飲んでゐる三男の三之助は宗五郎の處へ渡した、實にどうも情けない取計でございます、サア小供の事だから、親子で自然と血が知りますから、初めて宗五郎に抱かれた時は、一時喜んだやうなものゝ御腹が減つて來るから「乳よ／＼」と云つて泣き出す、それを抱いて宗五郎は、牢舍の內で男泣きに　宗「ア、酷い事をなさる、迚も殺して御了ひなさるなら、乳でもせめて飲まして下されたら如何なもの」と泣かれました、此方はれ美禰、乳が張つて來て耐らない、隣の牢で子供が「母さん乳よ／＼」と云つて泣きますのを、良人の宗五郎が之を瞞しながら宥める哀れな聲を聞いて　美「アヽ宗五殿は、彼處へ御居あるか、如何な御姿に御成りなすつたか、其容子を見たい」と思ふは夫婦の情でありますが、見ることが叶はぬ、子供は益す腹が減るに由つて「母さん乳よ」と泣く、此方には次男の喜六が　喜「兄さんよー……母さんよー」と叫ぶ、又長男の宗平は　宗「弟か、御母樣は何處に」と叫ぶ、親子五人を別々に、而かも其叫びの聲の聞へる處へ入れたと云ふのは實に無慈悲極まる事でございます



芳舟繪

廣告

제145호　1909. 6. 26.





寄書

## 韓國中央銀行論（十六）

ケー、シー生

●正貨準備、保證準備、限外發行に關する規定

紙幣發行の方法は其國の事情と歷史とに依り各國其制を異にし多種多樣なりと雖其中重なるものは英の一部準備法佛の準備比例法我邦及獨の制限屈伸法の三種ならん。

**一部準備法**とは法律を以て保證準備發行額を一定し其以上は正貨準備に依るの外發行を許さず紙幣流通高の伸縮は一に正貨準備の多少に因て定まるものを云ふ

**準備比例法**とは法律を以て正貨準備發行額と保證準備發行額の間に一定の割合を定め（正貨準備は保證準備の三分一若しくは四分一と云ふが如く）正貨準備の增減に比例して保證準備も亦增減すべきものを云ふ。

**制限屈伸法**とは法律を以て保證準備發行額を限定するの點は一部準備法と異ならざるも市場の狀況に依り正貨準備に因らずして法定額以上の限外發行を許し其限外發行額に對し相當課稅して濫發を豫防するものを云ふ。

前記三制度中理論に於て最も進步し効用に於て最も自在なるは制限屈伸法に若くものなし故に新たに兌換制度を設定せんとせば特別の事情と特別の歷史なき限り必ずや此制度を採用すべきこと殆んど學說の一致するところにして現在の第一銀行券法も乃ち此制度に據れるなり唯だ限外發行に對し課稅なきのみ。

然らば韓國中央銀行の兌換制度は亦制限屈伸法を採るべきや否余輩は深思熟慮の上直ちに此制度を採るの不可なるを認む抑も兌換券の信用は主として正貨準備の充實にあり若し正貨準備減少して保證準備との權衡を失するときは市場に不安の感を與へ人心に動搖を來し兌換の請求を續出するに至る故に正貨準備の額は法律を以て明定するの要は之れなかるべきも成べく其增殖を促し保證準備との權衡を保たしむべき間接の拘束を加ふるは實際に於て安全且つ有益の方法なるべし第一銀行券法發布の當時は戰役の後を承け市場混亂の際にて正貨準備の增減に注意を拂ふもの少なく又一方には貨幣整理の大事業を開始し整理の爲多大の紙幣を發行すべき準備を必要としたるに依り正貨準備に關する拘束規定を設くるは却て實際に適當なりと云ふ能はざりしも今日に於ては最早然らず市場の秩序回復せしと共に公衆の經濟思想も頗に發達し殊に貨幣整理の事業も已に大半結了を告け之が爲に特に紙幣增發の要なかるべきを以て專ら正貨準備の充實を計り兌換制度の基礎の堅實を示すに足るべき　適し且つ一國の信用を發揚する所以なりとす玆に於て余輩は韓國中央銀行に對し一種の折衷案を提出して其採用を希望せんと欲す折衷案とは何ぞ曰く屈伸制限法と準備比例法の併用なり乞ふ之を詳述せしめよ

### ▲佛海軍の紛亂

伯林電報

佛國議會の海軍調査報告は驚くべき冗費怠慢紛亂の狀を曝露したりと（廿五日午前發）

### ▲同盟會と出品

廢稅同盟會は遂に六大商業會議所の勸告を容れ決議を取消して海外の博覽會へ出品する事となれり（廿五日東京經由）

### ▲米政府の聲明

紐育電報

日米條約有效期限に就き米國政府は締結當時　情實は知らず明文に依りて解決する外なきも更に熟考すべしと高平大使に聲明せりと（同上）

### ▲安奉線の交涉延期

東京電報

安奉線問題交涉は錫良總督巡視の爲め亦々延期となり來月中旬頃ならでは開始されざるべし（廿五日午後發）

### ▲高平大使召還

高平駐米大使は賜暇歸國すと稱せらるゝも其實召還せるが如し後任は林、栗野の二氏擬せられ居れりと（同上）

### ▲討伐行賞發表

韓國暴徒討伐に從事せし戰死者第十三師團二十六旅團二十三聯隊及二十七聯隊憲兵隊騎兵隊京城及鏡城衛戍病院其の他將校以下三百四十名の行賞發表さる

### ▲鹽屋中將有罪

日本水產會社詐欺事件にて豫審中の鹽屋中將、田村惟昌外七人は有罪と決定したり

### ▲釜山商業學校長任命

甲府商業學校長田崎氏は釜山商業學校長兼敎諭に任命せられたり

### ▲商大學科規定

九月開始の商科大學學科規定は近日發表さるゝ筈

### ▲日糖公判と辯護士

本日日糖事件公判に於て各辯護士は森本、小澤、島津西村、木村等　無罪論を主張し夜に入り閉廷せり

### ▲鐵道院官吏罷免

鐵道院本部判任官六十五名雇員百〇六名の罷免發表されたり

### ▲製粉會社合同

日本帝國兩製精粉會社は昨夜の總會にて合同案を可決したり

### ▲專攻部の存續

高商專攻部六ヶ年間存續の件は本日文部省令を以て發布されたり

（以上二十四日午後發）

雜報

### ●二法案の審査（了）

從來種々の名目の下に賦稅的寄附金を募集するものあるを以て之れに對する取締規則及與當業者に關する規則は法令審查所に於て立案中なるが略ば終了したるを以て不日閣議に提出すべしと

### ●二問題の凝議

二十四日統監邸に於ける大臣會議閉會後各大臣は十一時半より昌德宮仁政殿に參集し曾禰統監の說示したる暴徒討伐の件鐵道增設の件に就き鳩首會議を凝らしたりと

### ●統監の施政方針

統監が二十五日各大臣を官邸に招き凝議したることは別項の如くなるが更に聞く所に依れば統監の施政方針は伊藤前統監と何等異なることなく依然として日韓兩國の親善を圖り韓國をして徐文明の域に達せしむるにあり而して暴徒の如きは此のまゝに放棄すべくもあらず急に之れが鎭定を計り鐵道の如きも漸時線路を增して地方交通の便を加へ以て地方產業の發達を獎勵すべし又中央銀行の設立も成案既に成りたれば韓國の制度日々整頓しつゝありといふにあり

### ●米韓電氣買收決定

兼て東京に於て協定進行中なりし日韓瓦斯會社の米韓電氣買收は愈々東京に於て決定したる旨一昨夜來電あり買收價格は當分百六七十萬圓位なるべし併し之を一時に支拂ふに非ず先づ手附金として二十万圓を渡し跡は徐々に拂渡すことゝなるべきか現在の電氣は電線も一本にて且軌道も單線なるを以て之を復線に改良するの必要あり其改良費は約六十萬圓餘を要すべしとの事也

### ●親書の內容發表

韓皇より韓太子をして伊藤太子大師に傳致せられたる親書の全文は二十五日の官報を以て發表されたり

### ●下賜金の支途申請

韓皇西韓巡幸の際江原道へ下賜相成りたる金員は蠶業獎勵費、蠶業傳習所器具機械購入費及道路修繕費に支出すべき旨の許可を申請したりと

### ●日本人の怠納處分

日本人中三稅の怠納者ある時は理財官にて直ちに之れを處分し得るの權能あることは統監府令に依りて明なれども斯る場合は韓國當該官憲の請求に依り處分する筈なりと

### ●京商議員改選期日

既報の如く京城日本人商業會議所議員が期半數改選は愈來る三十日同會議所樓上に於て施行の事に決定せるが其の時刻は三面廣告欄に就て見るべし因に投票用紙は當日會場に於て交付すべしと

### ●日英博と韓國出品

韓國は來年五月英京倫敦に開催せらるゝ日英博覽會に對し出品なすこと筈にて統監府農商工部の間に協議中なりしが其出品は左の如く內定したり

一、韓國模形圖（廿萬分の一）
一、風景風俗寫眞　數百枚
一、統計表　但財政經濟敎育貿易、產業、通信、鐵道、金融等に關するもの
一、古代美術品、現代工藝品各種

### ●前副統領の消息

既報の如く米國前副統領フエアバンクス氏夫妻は二十五日午後四時より宮內府美術工場を視察し二十六日午前十時南大門發列車にて平壤に赴き同地に二泊の上新義州に向ふべしと尙統監府よりは菱田囑託を同行せしめ凡ての便宜を與ふる筈なりといふ

### ●故閔妃の祭典執行

去る二十三日は故閔妃の命日に相當するを以て皇室にては德壽宮侍從洪運杓を東門外洪陵なる墓地へ差遣はし祭典を執行せしめたるが尙義親王、李載覺、李埈鎔、李載完、李達鎔、李載克、閔泳奎、閔泳徽、閔泳麟、閔泳綺、李址鎔等の承候官も列席したりと

### ●退官賜金令の改正

昨年勅令第二十六號を以て發布されたる官吏退官賜金に關する件は去る廿四日付勅令第六十四號を以て一部の改正をなしたるが其要項は武官及相當官にして豫備後備退役となる時は退官賜金を給する事としたり但二ヶ年以上休職に在りたる者は二ヶ年を超過したる年數は在官年數に算入せざる事等なり

### ●京商議員の競爭

舊議員派八名と新候補者小川勝平池田長次郎、古城龜三郎、森村四氏の聯合派は各自選擧有權者に說き選擧委任狀を取り既に大勢定まりたるやの觀ありしも昨今に至り進辰馬氏候補に立ち前田、森、山口の三氏之れを援助して選擧者を勸誘しつゝあるが尙三級選擧に一二の補候者現はれんとする形勢あれば來る廿八日會議所の課金を締りたる上ならでは俄に測定し難き有樣なりと電通は報せり

### ●道書記官召集の內容

曾禰統監は二十四日午前十一時統監府に各道書記官を召集し會議を開きたる旨は昨紙所報せし處なるが今同會議の內容を聞くに統監は最初各書記官より各部に於ける會議の模樣を聽取しつゝありたるも斯くては報告區々に涉り煩に堪へざるものあるを以て鹽川京畿道書記官は一同を代表して會議の經過及び結果を具申し終つて統監は就任の挨拶を述べ夫れより暴徒討伐は壓迫策を採るべきか或は懷柔策を採るべきやとの質問に對し寬嚴宜しきを得るが上策なることゝ次で行政官中時に種々なる權謀術策を廻らすものあるも斯かる行爲は日本人よりも却つて韓人の得意とせる處なるが故に最も戒愼すべきものにして何物事は徐々秩序的に進まざるべからざる事との訓旨を與へたり

### ●地方區域變更

地方行政區域の廣袤大小相齊しからざるは施政の上に多大の影響あるを以て內部は曩きに之れが區域の廢置分合に關する法律案を起草し閣議に提出中の處愈々法律第二十號を以て地方區域及名稱の變更に關する件を二十五日發布せり而して其の內容は道及府郡の區域の廢置分合と其名稱及境界の變更は勅令を以て之れを定め社、坊、部其他如何なる名稱を附すると雖も面に該當する區域の廢置分合と其名稱及境界の變更は內部大臣に於て之れを定め得る旨を規定し尙漢城府に關しては別に定むべく本法は發布の日より之れを施行すべしと云ふ

### ●水利組合と同規則

水利組合設置に對する各道書記官の意見は組合規則なるものを制定して日本と同樣にすべしと說くもの尙早說を懷くもの組合規則を制定する樣に進步し居らざれば該組合は道の仕事とし之れを觀察道に於て監督するは可なりと云ふものあるが兎に角水利組合の設置は農業の開達を期する上に重大なることなれば相當の取締規則を設けて該組合の設置を圖るは至當なりと當局者は語りたる由

### ●京商議員候補者

**田中始一郎君**

君は福岡縣三潴郡の出身韓國に渡航したのが明治二十六年八月今を去る十七年以前である、之より先き君は郷里福岡に於て時計商を營み居りしも世の不景氣につれて失敗し已むなく孤身飄然として韓國に渡り本町三丁目に細やかな店を開いたのがそも〳〵の切つ掛け刻苦勉勵の結果終に今日の成功を來したのである君人に接して溫藉九州人としては珍らしい交際家だ一昨年一般實業家の信望を負ひ推されて日本人商業會議所議員となり以て今日に至つたが又昨年の九月選ばれて京城民團議員とはなつた、君年齡漸く三十九努めて倦まずんば將來の發展期して俟つべきである

**久保田虎介君**

君は長州萩の產、明治十九年仁川に上陸し同地に於て暫らく質業を營んで居つたが當時仁川の在留邦人は僅々三百人位に過ぎず從つて思はしきこともなき所から居る事四五年にして京城に來り這度は商賣を替へて韓人向雜貨を始め以て今日に至つたのである、而して其の當時は東學黨の餘黨が諸所に跋扈して居つた爲めに非常に恐慌を來し夜寢るにも握飯と鞋とを枕許に用意して置くといふ始末今際の身の上さへ計られざる程であつたとの事である斯くて君は次第に商運隆盛となるにつれて世人の信望を博し三十三年には商業會議所議員に推されたが又其の他の公共事業にも間接直接盡瘁せし功は少なくない

### ●地方委員會事績

韓政府は一昨年を以て官民意思の疏通及法令周知の機關として各地に地方委員會を設置したるが爾來其效果如何を知るに由なきを以て度支部にては各財務監督局に對し七月三十一日迄に左の事項報告方を命せりと

一、官民意思の疏通に關し特に施設したる事項
二、法令周知の爲め熱心に其職責を盡し其結果地方人民の誤解を掃蕩したる實例
三、滯納者並に面里洞長等に說示し徵稅の成績を良好ならしめたる實例
四、面長公錢領收員等の公金費消又缺逋を撿擧し或は未前に防止したる事蹟
五、隱結土の發見に努め撿擧の功を奏したる實例
六、地方產業の開發及財源の涵養に盡瘁したる事蹟
七、右の外財務行政に貢獻したる事蹟

以上は地方委員會の區域毎に調査し委員の氏名時日、公金費消の撿擧及隱結土の發見は其數字を記載する事

### ●龍山の臨時民會

去る廿一日龍山臨時民會を開き漢町借入の件軍用地返還の件會計檢査報告の件囑託獸醫俸給の件民長俸給の件に付討議したるが結局會計檢査報告は異議なく通過し借入軍用地返還の件は委員附托となりて調査することゝなり大村百藏、兼古禮三、三木熊之助の三氏を委員に選擧し民長及囑託獸醫俸給案は秘密會を開き協議する所ありたり

### ●留退任議員姓名

京城日本人商業會議所議員にして留任するものと退任するものとの姓名左の如し

●留任議員　一級（中村再造、山口太兵衛、曾我勉、木村雄次）二級（增田三穗、林田金次郎、大曲和一郎、白石巖雄）三級（近藤正康、佐野彥藏、松浦源治、三浦茂三郎）

●退任議員　一級（秋吉富太郎、久保田虎介、大島專藏、淵上貞助）二級（田中始一郎、高木德彌、田代宗西郎、五十八銀行補缺澗水繁太郎）三級（池田長兵衛、近藤佐五郎、四ケ所爲五郎、補缺江藤義雄、小林虎吉）

●新義州民會議長辭職　同民會議長松隈新氏の辭表を提出したるに對して居留民は留任を勸誘したるも決意飜し難く遂に辭職に決したれば來る七月十日其補缺選擧を行ふべしと

●商品陳列館現況　農商工部商品陳列館は昨年五月七日を以て開館したるが爾來日韓人の入場者非常に多く去る廿四日迄の累計は二十四萬七千七百八十一人に達したる內現在の陳列品點數は二千五百餘ありと

●郡主事と赴任遲　今回配置さるべき郡主事全道を通じ五十郡なるが目下着京せる二十三名は一兩日中に夫れ〳〵赴任す可しと

●群山の給水計畫　群山にては十年後の給水計畫を徐ろに計畫することゝし差向き月明山麓の藥水附近に大貯水池を設け三條通り新道路を經て居留地に淸水を輸送する事になれば今後二三年間の給水量は充分ならんと

●光州の法律研究會　本年四月より同地方裁判所員の發起により西門外の測量學校に於て韓國の子弟を集め法律研究會を開き每週夜間三回民法刑法刑事訴訟法等の大要を敎授しつゝあり尙は本月よりは經濟の一科を加へ佐藤農銀支配人之を擔任すべしと

●羽田波之紹氏外遊　大阪每日新聞の羽田波之紹氏は去る十五日發シベリヤ線にて露都を經バルカンより南歐巡遊の途に就かれたり

●佐野鑛次郎氏　過日內部技師を辭したる同氏は內部技師事務囑託を命ぜられたり

●博物館員の訪問　獨逸伯林博物館事務員ドクトルリチャードチルムフルド氏は二十五日午前統監府を訪問したり

●統監府給仕講話會　二十六日統監府にて給仕講話會あり大橋次郎、上野弘一、田中半四郎諸氏の講話あるべしと

本日の集會

●南山本願寺　同寺にては土曜日につき例の通り午後八時半より說敎あり

公人私人

▲和田維四郎（工學博士）　平壤鑛業所擴張の要務を帶び滯城中なりし處二十七日歸東する由

▲村田農商工部技師　平壤鑛業所に出張中なりし處二十三日歸任す

### 近事片々

▲大臣　及參與官會議に於て曾禰新統監の施政方針の演說あり內容頗る振へりとの說
▲片々　未だ其內容を聽かざる統監得意の現狀よりすれば或は意氣軒昂たる者あらむ
▲前觸　丈を觀望すれば新統監はキビ〳〵總てを解決せんず意氣込あるやに見受らる
▲果し　て是が實際に發現すれば統監政治は一新面目を革む可し唯靜に御手際拜見か
▲統監　邸近々龍山に移轉さるべしと是果して便宜か片々はつや〳〵首肯する能はず
▲司令　官々舍は曾て長谷川將軍の計畫に係はると聞く何故に變更せしか些と不可解
▲宮相　閔丙奭に對する世の取沙汰多し夫かあらぬか近時亦宮相更迭說巷間に傳はる
▲嚴肅　なるべき宮相に種々の風說起るは甚だ面白からず更迭說の起る謂なしとせず
▲伊公　の禿頭工合は一見二見が浦に似るは公の至誠大廟に迄屆きたる徵也とは滑稽
▲乃公　は一の酒落話しにも至誠の二字が追隨す遮莫蹇々匪躬の唐ヌタも謂れある也
▲日本　農夫が田園に歌いつゝ樂しく勞働するを見てフエアバンクス氏頻に歎賞措す
▲田園　勞働者こそ日本の元氣也亦花なりかし此農夫ありて始て日本の國礎が堅固也
▲五朱　の金を借りて一等國也と何ぞ夫れ例の兩敬先生陰る實際其通り列國に對し可恥
▲自惚　は進步を害す陸海軍のみ發達するも商工業盛ならざれば國威の發揚は難事也
▲三宅　雪嶺博士曰く風俗壞亂の書物耳厳に取締るも何の効かある更に一步を進めと
▲書籍　の取締よりも生きたる元老政治家等の風俗壞亂行爲を取締るの必要ある也と
▲眞に　然り生たる渠等の行爲が青年子女を毒するか其害毒は實際書籍以上のもの也
▲威權　赫々たる鐵良も兩廣總督巡撫等よりの陸軍の無能不整頓に彈劾されて引籠れり
▲驕る　者は久しからず流石の鐵良も少々屁古垂る今後何人か北京の勢力たるべきか
▲近時　北韓南韓共に猛虎頻に出沒し人畜を害す大擧一番猛虎狩を催して試如何にや

### ●金融機關の取締

近來組合[illegible]地方に設立せらるゝ者漸く[illegible]手形組合理[illegible]地方金融組[illegible]を講ずる方針にて廿六日[illegible]混淆の弊を避け相當の助成若くは取締の途[illegible]みたる場合には其計畫の動機、團体の目的[illegible]

### ●學田整理方針

[illegible]學田の整理に就ては既に國有に編入し已に[illegible]之を歛其地名等となるべ[illegible]各監督局に於て管理する事となり各郡衙の[illegible]に度支[illegible]て決定し居[illegible]も今尙此方針[illegible]入收賭し無土の學田（土地に關係なく收入がたりと[illegible]のみ給付されたるもの）は總て收稅すべき[illegible]

### ●鐵道社債の償還

[illegible]鐵道株式會社々債第三回及第四回の[illegible]二十六日午後六時[illegible]

●配達出發　午後七時三十分

金融機關の取締

[illegible]地方に設立せらるゝ者漸く[illegible]に轉じ[illegible]混淆の弊を避け相當の助成若くは取締の途を講ずる方針にて廿六日[illegible]手形組合[illegible]地方金融[illegible]來如斯團体の成立若くは其計畫に就き申込みたる場合には其計畫の動機、團体の目的[illegible]

學田整理方針

[illegible]學田の整理に就ては既に國有に編入し已にのみ給付されたるもの[illegible]は總て收稅すべき[illegible]を給付せられたるもの[illegible]入收賭し無土の學田(土地に關係なく收入ありたりと[illegible])各監督局に於て管理する事となり各府郡の[illegible]

●鐵道社債の償還

[illegible]て決定し居[illegible]

●配達出拂

[illegible]二十六日午後[illegible]時 午後七時三十分

## ▲相談の相談▼

(何んでも御相談に應じ升)

◎問● 私は天理教の信徒にならうと思ひますが如何なもので御座いましよう(岡村生)

◎答● 此判斷を下す前に質さねばならぬ先決問題が二つある、第一は天理教なるものを多少研究したことがあるのですか、第二は貴君の教育程度です、實際斯教に就ての門外漢であれば研究するの必要がある、然る上は貴君の教育程度によりて入門の可否が直に決せらるべしと思ふ、併し邪教でない以上は何でも信心と云ふ事は良い事で有

◎問● 渡韓以來勞働に從事致し今日にては三百餘金の蓄へを生じ申候に就ては當地にて何か商賣を初めんと存候へども其の方の經驗無之なまじゐ左樣のことを致さんよりは故郷に歸らんかとも存じ何れとも決定致し兼ね居申候、右御相談申上候(山本留五郎)

◎答● 何れも可ならず、僅々三百圓位蓄つたからとて鬼の首でも取つた積りで故郷へ歸る杯は日本人の耻だよ經驗のない商賣なぞに手を出さず勞働の傍ら手堅く利殖の方法を計ることが上策也、踏み止まつて働き玉へと勸めする(係)

◎問● 小生は多年肺患に惱み居候者に有之候然る所本年に入りては愈々重症に陷り回復の見込無之由診斷され候に就ては當年三歳に相成候兒まで有之候に妻なるものは小生に對し離婚を請求して止み不申不親切不埒なる奴とは存じ候も臥床以來は妻の手內職にて今日迄凌ぎ來り候始末なれば烈敷ことも不被申然りとて離婚承知仕候へば親子二人のものは餓死するより外無之候何んとか妻の心を飜へしむる好方便有之候はゞ御教示仰ぎ度願上奉り候(病床にてエチ、テイ生)

◎答● 御相談の次第讀むからに同情の念は心頭に湧き申候、御境遇上御內房の心を飜へさせたく思はるゝは御尤もの次第に御座候乍併斯る境遇に於て愛する幼兒も良人をも振り捨てゝ離婚を請求する樣にては御內房の精神は既に墮落致し居候否其肉体迄も或は墮落致し居候ことゝ斷定するも敢て過言に非ずと存じ候、此觀察にして果して誤らずとせば却て其請求に任せて御離婚なさる方宜敷ぞと存じ候、左すれば生活上に御困ざの御懸念あるべけれども世人の同情も可有之候渡る世間に鬼はなし、實際の境遇如斯とすれば記者も亦一肌脱ぐに吝ならず候故に其請求に任せ快く離婚を御承知に相成候はゞ却て御內房も忸怩として自己の輕薄なる所處を耻ずるに至るべく、其悔悟の念起らば愛兒もあることなれば或は元の鞘に納まるに至ることなしとも保せず候、然るに今なまなか留立抔すれば益々增長するのみに候、女子と小人は全く養ひ難きものに候、然れども強いて翻心致させ度とならば日頃御內房の尊崇する人によりて婦人の道を能く〳〵說教するの外無之候、可成は一刀兩斷則ち快く離婚を承諾することに御座候(係)

## ●情死の分類に就て

▲高島平三郎氏の談話

△私の此處に云ふ情死と云ふのは相愛する男女が此世で添ひ遂ぐることが出來ない爲に合意でする情死を云ふのである情死にはいろ〳〵の原因や動機があるが之を形の上から分けると左の八種になる

一 同じ時に同じ場所で同じ方法で死ぬ
二 同じ時に違つた場所で同じ方法で死ぬ
三 同じ時に違つた場所で違つた方法で死ぬ
四 同じ時に同じ場所で違つた方法で死ぬ
五 違つた時に同じ場所で同じ方法で死ぬ
六 違つた時に違つた場所で同じ方法で死ぬ
七 違つた時に違つた場所で違つた方法で死ぬ
八 違つた時に同じ場所で違つた方法で死ぬ

△例へば女が自分の爲に川へ飛び込んで死んだと聞いて自分も後から其處へ行つて死ぬのは第五の場合で又一緒に死ぬとが出來ない爲に時間を約束して離れ〳〵に咽喉を突くなどは第二の場合である、然し同じ時に同じ場所で同じ方法で死ぬもそれが無理心中であれば其形式は同じでも其內容は全く違から之を眞の情死と云ふとは出來ぬ

△更に內容の方を研究して見ると大体に於て眞の情死と嘘の情死(此命名は甚だ語弊がある)と分けられる、そして前者を二つに分けることが出來る、前者の方の第一は二人が種々の事情の爲に此世では何うしても夫婦になることが出來ぬので絶望の餘りモウ生存して居る價値を認めなくなつたものである、第二は第一と同じ樣に現に望みを失ふけれど未來に希望を抱いて一蓮託生を思ふ宗教的傾向を加味したものである

△次に眞の情死でない即ち合意に非ざる情死は左の三つに分ける事が出來る、第一は例へば男が或事情の爲に生きて居られない羽目となつた時一人で死ぬのは寂しいと云ふ譯ではないが小說や戯曲などの感化で何うせ死ぬのなら情死でもしやうと云ふので娼婦などに逆に求める勿論相愛の結果夫婦になれぬのを悲しんで死ぬのではなく一方から云ふさ人を殺した刺激に依つて自分の殺意を困めると云ふ意味もある、第二は此聞の新聞にあつた樣な自分の惚れて居る男が外の女を女房にして終つた爲に何うしても其男と夫婦になることが出來ぬ、其處で惚れても何もして居ないけれど口惜し紛れに外の男に情死を迫つて殺して貰ふ類である第三は所謂無理心中である

△以上は情死に關する極ざつとした分類であるが扨情死するとが善いか惡いかと云ふとになれば勿論善いとではない然しよく考へて見ると眞に思ひ合つて居る二人から云へば男は女に對する生命女は男に對する生命で生存の愉快も活動の原動力もすべて唯一つの此戀から湧いて來るそれが一度何かの事情で之を失ひ或は思つて居乍ら一緒になることが出來ぬとすれば失望して厭世の念を起すのも無理がない、だから社會教育に從事する人々はよく其事情原因を研究した上で此忌まはしい情死なるものを成る可く少くする樣に力めることが必要である

## ●女房の不身持を訴ふ

▲京城一の意氣地なし

本町六丁目三十一番戸矢內豐吉は一昨廿四日午後〇時南部署に出願し只今私妻キヨ及び本町七丁目中村次郎兵衛妻ツル(四五)の兩人は竹園町一丁目二十二番戸無職中村イチヱ(三)方に於て賭博を爲し居れば相當御說諭を願ひますとの事に詰合の警官は時を移さず同家に出張せしにイチヱは熟眠中なりしも他の兩人は弄花の最中なりしかば其儘南部署に引渡したるが金錢を賭したる證跡不明なりしを以て說諭の上放還されしが女房の不身持を已れで制する能はず警察にまで厄介を掛くるとは隨分意氣地の無い男哉

## ●巨魁李麟榮の審問

此程憲兵隊の手に捕縛せられたる賊魁李麟榮は目下憲兵本部に於て明石少將自ら審問を續行しつゝある由なるか同人は他の賊魁に多く見ざる温厚なる資質を有し幼ふして學を鄭菊史に受け長ずるに及び、漢學の造詣又頗る深く曾て丁未の政變に慨する處ありし柳麟錫等と謀り兵を京師に擧げ大に企圖するものありしも事志と違ひ破れて地方に走り茲に暴徒と通ずるに至れり故を以て名八道に鳴り一昨年十一月京畿道楊州に各道首魁文泰成、李康年、閔肯鎬、申乙石、方江寛、鄭鳳俊、許蔿と相會し密議數日大に統監に迫るを宣するや天下靡然として旗下に集る暴徒一万余と註せらる時に彼は其學識と德廉とを以て各道の首領より推されて總大將に任ずるや幾何もなく父の計に接し倉皇國に歸り喪に服する久しかりし間に形勢非にして再び暴徒の事を見ず今回縛に逢ふに至れりと語れりと電通は報せり

## ●無一文の泊客

仁川警察署に一昨日午後十一時半頃本町一丁目花屋旅館事大久保幸一の妻れ何と云ふが出頭訴へて曰く廣島縣國泰寺町士族自稱請負師浦添爲宗(三)と云ふは去る二十三日京城より來仁し直に當花屋に宿泊したるものなるが一昨夕表道路を流し行く新內語りを喚び揚げ酒肴を命じて散財をなしたる果右新內語りが返らんとするも無一文にて禮金を與ふること出來ざりしかば同家の下女後小路かつと云ふが一圓を立替へ措きたるに爲宗は後に至り何んのかのと文句を並べ果ては亂暴にも及ばんとしたれば斯く訴ふる次第なりとありければ警官出張の上相當說諭を加ふ

## ●無免許の質屋

仁川宮町二丁目伊勢德三郎と云ふは昨年來無免許にて質屋營業をなし今日まで二千四百二十八圓を貸し出し居ることを此程其筋の爲め發見せられ一昨日告發せらる

## ●愛犬の行衛を訪ぬ

西大門外アストルホテル內米國人ワイゴールの愛犬一頭行衛不明となりたれば發見通告せし人には充分謝禮すべしと尚は犬の容貌は左の如し洋和犬(頸輪付)長一尺五寸餘高さ五六寸毛色短くして白く皮膚に黑小班ありて毛を透して見らる、顏は長くして狐の如く鼻上より細き白線を引きしが如し

## ●無屆居留者の處罰

群馬縣太田郡立林町龍町指物職荒井南作(三六)は去る五月三日以來當地永樂町一丁目七十一番戸へ居留しながら其屆出を怠りしかば一昨日南部署にて過料金二圓に處せられたり

## ●久子拍子の鞍替へ

仁川敷島遊廓朝日樓の久子は一昨日廢業屆を出したる由なるが龍山桃山遊廓日曜樓に鞍替する筈なりと

## ●荷車を放置して

永樂町二丁目ラムネ卸賣商田畑與吉(二四)は去る二十二日午後一時三十分頃本町一丁目街路に荷車を放置して交通の妨害を爲し卅錢の科料に處せらる

## ●月子拍子の科料

新町月下樓抱へ月子藤原くに(二一)は去る二十二日無屆にて大和町三丁目迄外出せしを警官に認められ昨日一圓の科料處分

## ●道路に魚骨を捨て

旭町一の一雜貨商森山わい(三二)は自宅前道路に魚骨を投棄せし爲め科料三十錢に處せらる

## ●滑稽新聞

第二號が出た表紙の意匠は一號よりも餘程優て居る其記事も亦稍々整頓して來たが腸を抉る的の滑稽がないでもないか聊か乏しい樣だ更に筆硯を磨して痛快に滑稽に世事を罵倒して欲しい是が滑稽新聞の本領ではないか而して更に望む所は痛快なる諷刺的挿畫を多く掲ることである要するに吾人の望む所は號を逐ふて益々其本領を發揮することに努むることである、發行所は龍山榮町の其の社で一部廿錢だ、到處に販賣所はあるがモウ賣切れたかも知れぬが其處までは本紙の請け合ふ所でない

## ●紳士の遊興振

右は紙面の都合に依り本日休載

## 演藝界

▲歌舞伎座●●● 本日の替り狂言は前は「横櫛お富」の通し切は「扇屋熊谷」と据りたるが其の重なる役割は左の如し
幸十郎、折子お竹(貴笑)權十郎、小萩實は敦盛(福尚)與三郎(琴樂)蝙蝠安(雀三郎)赤間源左衛門(三河藏)熊谷次郎直實(市川市富)切られ(米花)桂子(市猿)女房お時、折于お銀(歌之丞)

▲京城座●●● 「鶯蛸海底電信」全十一場にて重なる役割左の如し
大尉日下(井奈波)斎兵(石田)二等卒山中(花笠)一等卒崎、副官柴(橋本)歌次川秀臣(勝見)ラクバラリー子息ラクラクラリー(横田)一郎妹れ峯(廣山)露國將校ラクラパリー(吉野)令孃春枝(村上)少佐篠田(松村)中將野木(異部)曹長白石(郡)令孃信子(東)御用商人大塲(青山)遊人岡崎(瀨川)

▲永樂亭●●● 辰丸一座にて前夜の續きを一層勉強して讀み上げ奉るとの事也

## 平民文庫

捏造中傷無用のこと 小便も亦御斷り申候

▲片々子の植村牧師評は面白く拜見致し候序に在京城各宣教師を評論して吾宗教界に一鞭を加へられては如何(牧師撰擇生)▲やま王足袋は成程染め方は上等だが仕立方の不親切なのと格好の惡いのと價の高いのとで打ち壞しだ其の格好は韓人には宜いかも知れぬが日本人には痛くて不可ない皆さんに報告する(被害者)▲指頭觀相生返答延引仰せの通り(イヤ仰せの通りでなきかも知れん)ヨリウエなれば二個も る事と解します、平民文庫投書家諸君の公平なる批評を待つ、敢て助けて呉れとは云はず(ドントコイ生)▲本町一丁目の山岸天祐堂の養子だか何んだかは極めて生意氣な奴だ買物に行つても鼻汁もかけない撲れば此方が惡くなる何うして行らうかナア(思案生)▲本町通り四ヶ所商店の前の足袋屋の軒下にブリキ製の足袋形を掛けてある家がありますが過日私は彼れに頭を打つ付けたが店に座つて居る奴め氣の毒相な顏も爲ない(立腹生)▲韓國に三年も居ると人間が變に化りますので困ります故郷から小僧や若い者を連れて來ても直ぐ駄目になるので困る(商家の主人)▲本町通りの足袋屋さか下駄屋とか靴屋とか足に緣のある家の內儀さんは先き頃は壯俳と乳緣合つて居たが此の頃は明治町邊の〇〇金貸とか銀化とか云ふ綽名のある家の主人と密通して居るが其の手際の上手なこと成田屋アと褒めたい位ひだ珍の珍なるもの珍も此所迄行けば珍過ぎて困る(見兼生)▲今日の投書は足に緣のあるのが多い、台俳角力で風が大木戸と云ふ大敵を足取りで倒したからさの暗示を受けたのでもあるめね(小僧)▲姻癡玉君、太平洞八共に振はざること何んぞ夫れ此頃の如くなるや敢て問ふ(石井洞八)▲足下も振はない一人ならずやだ(係)

各種 洗濯石鹼 製造販賣 專門 用途 一● 鐵工、鑛山、水道、諸工業用 （電話九七三番） 朝日石鹼製造所

▲紹介欄▼

●貸子募集 廿歳以上の男子六名入用 旭町一の六〇 旭町競賣所（二八〇）

●被雇度 年廿五永年大阪にて商業に從事す 店係りの心得あり給料不望確實保證人あり 氏名在社（二八三）

●求妻 年齡廿歳より廿六歳迄位にして品行方正身体強健なるもの男三十歳には統類なし月收六十圓 氏名在社（二八七）

●正派薩摩琵琶研究會 京城壽町一ノ一八番戶 授教希望の方は申込あれ 會主 有馬良熊（二八八）

物件部

●土地賣物數十個家屋賣物澤山あり 本町民團役所前 佐々木

●賣家 京義道利川郡利川に諸營業に適當の家屋あり地所共に金二百圓にて賣却す 京城三角町三 山内（二八二）

コースター付上等自轉車中古格安に賣却したし 氏名在社（二八六）

●貸家 南山町二丁目にて八疊と外に四間あり家賃面談 氏名在社（二八九）

●大弓場貸地 旭町一民團役所燒跡附近、番夏店にて遊歩に最適當なる場所に大弓場の貸地あり 氏名在社（二九〇）

廣告

祝開業二週年
並に支店開業御披露として六月六日より七月末日迄席料半額其他一切破格を以て勉強仕候

待春日

合のしく

眼科專門
京城本町一丁目參十四番戶 元藤井跡（電話三十二番）
江頭眼科醫院
醫學得業士 前漢城病院眼科部長 江頭富雄

梅毒專門 皮膚病一般
痔 注射療法（不要入院）
京城南大門朝市場櫻家旅館內
神戶資生院長
出張診察所
院長府立大坂病院專攻 元兵庫縣立福原驅梅病院醫長
醫學得業士 蘆田耕平
○資力乏しき病者には割引又は施療を爲す

名譽銀牌受領 キリンビール

代理店設置廣告
今同京城本町一丁目裏通 韓國實業株式會社京城支店（電話十三番）岡內清一殿へ本社漢城代理店を依託し京城及其附近に於ける火災保險契約を取扱はしめ候
明治四十二年五月
東京市日本橋區檜物町五番地、六番地
火災海上運送保險 共同保險株式會社

訂正增補 第六版特價即賣廣告
大日本人名辭書
大本全一冊（紙數二千七百五十頁）定價金拾五圓
六月三十日限り ◉特別割引金九圓
但東京市外は小包郵便料四十八錢 臺灣、清、韓、樺太七十錢を要す
本版は人員に於て四千三百餘名を增補し附するに諸系譜並に和漢洋年表を以てしたれば前版に比し一層本書の面目を新にせり、乞ふ此好機を逸せず速に御注文あらんことを、御送金の上は直ちに發送致すべく候
明治四十二年六月
東京京橋彌左衞門町七番地 電話新橋八十七番 振替東京二二九番
合名會社 經濟雜誌社

●京城市内の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●

概略營業品目
和洋帳簿諸紙類 文房具學校用品 卷紙封筒手帳類 帽子洋傘クッ鞄 洋服附屬品一式 メリヤス類一式 毛布膝掛馬車掛 石鹼香水齒磨類 タオル、ハンカチフ 袋沓下袋物類
正札 一 引なし
官衙、陸軍 銀行、會社 御用達
京城本町四丁目
池田長兵衞
電話二百〇六番
和洋雜貨 卸小賣商
●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

歐米直輸入 東京高崎製金庫並に戶扉 東京岡崎製喞筒 ジユタンリノリーム 西洋家具室內裝飾品 卓子椅子及各種 ストーブ及石炭 最新式謄寫版 コッピープレス及復寫紙 ホッチキス自働紙綴器 衞器 賣專二重瓶及同轉式喞 特許各種 ヒゲタ醬油 建築金物消火器 印 類

火災盜難保險附 東京高崎製金庫

京城支那領事館通
清韓洋行
（電話四九四番）
各カタローク申込次第呈送す

緊急廣告
今般本社業務擴張の爲め從來京城旭町二丁目百九十番地所在の本社京城支局を廢し內部の組織を變更し京城旭町二丁目三十二番地に本社支局を設置し從來の如く牧山耕藏を支局長に山本芳甫を會計主任として勤務爲致候間此段廣告候也
明治四十二年六月廿二日
東京京橋區瀧山町八番地
株式會社日本電報通信社
專務取締役社長 光永星郎
追て本日迄京城支局主任と自稱せる高村謹一氏とは何等の關係無之候間爲念申添候

九州セメント 上等生石灰販賣
京城南山町一丁目電話三四四番 山村商店
龍山元町一丁目 電話三四八番 中村運送店

待合 御料理 御宿

▲清潔と下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十一番戶横小路（元花屋跡）
▲懇切な下宿▼
かめ屋

新茶賣出し
卸 小賣
京城本町五丁目
富士の里茶舖
電話九九七番

統監府御用 諸官衙人力車 荷物荷造及運搬
伊藤組
本店 京城本町三丁目（電話四〇番）
出張所 同南大門驛構內（電話七三二番）

南山の風景を目前に眺め浴場の設備あり

待合 貸席 入船
京城南山町一丁目

龍山 萬長旅館
東山の手柳町
電話四〇〇番

右今回弊店に於て營業開始仕候間續々御用命被仰付度充分大勉強御高需に應可申候
鴨綠江製材
各種板類一切 及小割類種々
京城本町四丁目
煙上支店 山本村太部

營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類
諸官衙御用品調達
各學校御用品調達
委托販賣
東京ランバーグ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山臺鹽合資會社食鹽特約店
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目十番地 電話新橋三九六二

時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
金旅館
（電話長一七〇番）

特約販賣 自賣製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
（電話二五一番）
和洋酒、精酎、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尚御室に依り商品切手調進仕候

元祖 消毒 殺菌 牛乳 京城大和町壹丁目
平山牧場
電話一三三

◉氣候變化＝牛乳
◉牛乳＝純良＝消毒
韓國畜產株式會社
南大門外（電話八八番）

軸物表裝 金銀屛風 額面額一式 襖張天井張
古香堂
明治町二丁目交番横

工場新築落成に付當分の間二割引

大阪新報 大賣捌所
京城佛國領事館通
大成社

會席御料理
本町八丁目
富士見樓

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 郡回漕店 電話三十九番

●釜山長崎門司神戶行 山東丸 七月四日午後三時
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 七月一日正午
●大連、太沽、牛莊行 山東丸 七月二十日午前五時
●大連、太沽、牛莊行 酒田丸 七月二十二日正午
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 七月七日午後
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月金八錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢▲特別廣告五號活字十九字詰一行金六十錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太
發行所 京城西四軒小門通 京城新報社 電話六番